

お客様各位

---

## カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

---

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願い申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日  
ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

2002年11月29日

# 日立半導体技術情報

〒100-0004  
 東京都千代田区大手町2丁目6番2号  
 (日本ビル)  
 TEL (03)5201-5235 (ダイヤルイン)  
 株式会社 日立製作所 半導体グループ  
 汎用・コンシューママーケティング部

|      |  |        |  |   |      |
|------|--|--------|--|---|------|
| 製品分類 | マイコン                                       | 発行番号   | TN-H8*-241A  | Rev.  | 第1版  |
| 題名   | H8S/2218、H8S/2212 シリーズ<br>ハードウェアマニュアルの誤記訂正 | 情報分類   | 1. 仕様変更<br>②. ドキュメント訂正追加等<br>3. 使用上の注意事項<br>4. マスク変更<br>5. ライン変更 |   |      |
| 適用製品 | H8S/2218、H8S/2212<br>シリーズ                  | 対象ロット等 | 関連資料   | H8S/2218、H8S/2212 シリーズ<br>ハードウェアマニュアル<br>ADJ-602-338(H) 第1版 | 有効期限 |
|      |  | 全ロット   |  |   | 永年   |

日立シングルチップマイクロコンピュータ H8S/2218、H8S/2212 シリーズハードウェアマニュアルにおきまして、誤記がありましたので訂正させていただきます。

- 記 -

1. RTC コントロールレジスタ 1 (RTCCR1) のビット 7 (RUN)

【修正前】

| ビット | ビット名 | 初期値 | R/W | 説明   |
|-----|------|-----|-----|--|
| 7   | RUN  | -   | R/W | RTC 動作開始<br>0 : RTC は動作停止<br>1 : RTC は動作開始 |

【修正後】

| ビット | ビット名 | 初期値 | R/W | 説明   |
|-----|------|-----|-----|--|
| 7   | RUN  | -   | R/W | RTC 動作開始<br>0 : RTC <u>またはフリーランカウンタ</u> は動作停止<br>1 : RTC <u>またはフリーランカウンタ</u> は動作開始 |

2. シリアル拡張モードレジスタ A\_0(SEMRA\_0)のビット6 ~ 4 (STC2~0)

【修正前】

| ビット | ビット名 | 初期値 | R/W | 説明   |
|-----|------|-----|-----|--|
| 7   | SSE  | 0   | R/W | SCI_0 セレクトイネーブル<br>(本文省略)                    |
| 6   | TCS2 | 0   | R/W | TPU クロックセレクト<br>(本文省略)<br><br>0** リザーブ(設定禁止) |
| 5   | TCS1 | 0   | R/W |  |
| 4   | TCS0 | 0   | R/W |  |
| 3   | ABCS | 0   | R/W | 調歩同期基本クロックセレクト<br>(本文省略)                     |

【修正後】

| ビット | ビット名 | 初期値 | R/W | 説明   |
|-----|------|-----|-----|--|
| 7   | SSE  | 0   | R/W | SCI_0 セレクトイネーブル<br>(本文省略)                      |
| 6   | TCS2 | 0   | R/W | TPU クロックセレクト *<br>(本文省略)<br><br>1** リザーブ(設定禁止) |
| 5   | TCS1 | 0   | R/W |  |
| 4   | TCS0 | 0   | R/W |  |
| 3   | ABCS | 0   | R/W | 調歩同期基本クロックセレクト<br>(本文省略)                       |

【注】\* ビット6~4のTPUクロックセレクト機能はE6000エミュレータではサポートしていません。

3. シリアル拡張モードレジスタ A\_0(SEMRA\_0) のビット2 ~ 0 (ACS2~0)と

シリアル拡張モードレジスタ B\_0(SEMRB\_0)のビット7 (ACS3)

【修正後】

| ビット | ビット名 | 初期値 | R/W | 説明  |
|-----|------|-----|-----|---|
| 2   | ACS2 | 0   | R/W | 調歩同期クロックソースセレクト<br>(本文省略)<br><br>1 0 0 0 : =24MHz 専用の平均転送レート 115.132kbps を選択 *<br>(転送レートの16倍の周波数の基本クロックで動作)<br>1 0 0 1 : =24MHz 専用の平均転送レート 460.526kbps を選択 *<br>(転送レートの16倍の周波数の基本クロックで動作)<br>1 0 1 0 : =24MHz 専用の平均転送レート 720kbps を選択 *<br>(転送レートの8倍の周波数の基本クロックで動作)<br>1 0 1 1 : =24MHz 専用の平均転送レート 921.053kbps を選択 *<br>(転送レートの8倍の周波数の基本クロックで動作)<br>1 1 * * : リザーブ(設定禁止) |
| 1   | ACS1 | 0   | R/W |   |
| 0   | ACS0 | 0   | R/W |   |
|     |      |     |     |   |

【注】\* 24MHz 専用の平均転送レート選択機能(ACS3~0=10xx)はE6000エミュレータではサポートしていません。

4. シリアル拡張モードレジスタ B\_0(SEMRB\_0)のビット6～0

【修正前】

SEMRB\_0は、SEMRA\_0との組合せによりクロックソースの選択、転送レートの自動設定ができます。

| ビット | ビット名 | 初期値       | R/W | 説明                              |
|-----|------|-----------|-----|---------------------------------|
| 7   | ACS3 | 0         | R/W | 調歩同期クロックソースセレクト<br>(本文省略)       |
| 6～0 | -    | すべて<br>不定 | -   | リザーブビット<br>ライトするときは0をライトしてください。 |

【修正後】

SEMRB\_0は、SEMRA\_0との組合せによるクロックソースの選択、転送レートの自動設定、および

TPUによる転送クロック生成時におけるポート1端子(P16,P14,P12,P10)の制御ができます。

| ビット | ビット名    | 初期値       | R/W | 説明  |
|-----|---------|-----------|-----|---|
| 7   | ACS3    | 0         | R/W | 調歩同期クロックソースセレクト<br>(本文省略)   |
| 6～4 | -       | すべて<br>不定 | -   | リザーブビット<br>ライトするときは0をライトしてください。   |
| 3   | TIOCA2E | 1         | R/W | TIOCA2 出力イネーブル *<br>P16 端子に出力する TIOCA2 の出力を制御します。<br>TPU の TIOCA2 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P16 端子を他の用途に使用できます。<br>0 : TPU の TIOCA2 出力を禁止<br>1 : TPU の TIOCA2 出力を許可 |
| 2   | TIOCA1E | 1         | R/W | TIOCA1 出力イネーブル *<br>P14 端子に出力する TIOCA1 の出力を制御します。<br>TPU の TIOCA1 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P14 端子を他の用途に使用できます。<br>0 : TPU の TIOCA1 出力を禁止<br>1 : TPU の TIOCA1 出力を許可 |
| 1   | TIOCC0E | 1         | R/W | TIOCC0 出力イネーブル *<br>P12 端子に出力する TIOCC0 の出力を制御します。<br>TPU の TIOCC0 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P12 端子を他の用途に使用できます。<br>0 : TPU の TIOCC0 出力を禁止<br>1 : TPU の TIOCC0 出力を許可 |
| 0   | TIOCA0E | 1         | R/W | TIOCA0 出力イネーブル *<br>P10 端子に出力する TIOCA0 の出力を制御します。<br>TPU の TIOCA0 出力を転送クロック生成のみに使用する場合、本ビットを0に設定することにより、P10 端子を他の用途に使用できます。<br>0 : TPU の TIOCA0 出力を禁止<br>1 : TPU の TIOCA0 出力を許可 |

【注】\* ビット3～0の機能はE6000エミュレータではサポートしていません。

5 . USB コントロールレジスタ(UCTLR)のビット7、6

【修正前】

| ビット | ビット名          | 初期値 | R/W      | 説明  |
|-----|---------------|-----|----------|---|
| 7   | -             | 0   | <u>R</u> | リザーブビット<br>必ず0をライトしてください。   |
| 6   | <u>USPNDE</u> | 0   | R/W      | USPNDE 端子イネーブルビット<br>0 : USPNDE/TMOW 端子は、 <u>RTC</u> の <u>TMOW</u> 出力<br>1 : USPNDE/TMOW 端子は、 <u>USB</u> の <u>USPNDE</u> 出力 |

【修正後】

| ビット | ビット名         | 初期値 | R/W        | 説明   |
|-----|--------------|-----|------------|--|
| 7   | -            | 0   | <u>R/W</u> | リザーブビット<br>必ず0をライトしてください。  |
| 6   | <u>TMOWE</u> | 0   | R/W        | TMOWE 端子イネーブルビット<br>0 : USPNDE/TMOW 端子は、 <u>USB</u> の <u>USPNDE</u> 出力<br>1 : USPNDE/TMOW 端子は、 <u>RTC</u> の <u>TMOW</u> 出力 |